

出場おめでとうございます 全国・九州大会出場者激励会

11月10日、役場庁議室において、全国・九州大会出場者の激励会が行われ、藤本町長から激励費が手渡されました。

【大会名】

第28回全日本マーチングコンテスト

【出場選手名】

熊本工業高校

黒田 晃誠くん(3年・南鹿野)

木村 心さん(1年・高塚)

【大会名】

ジャパンマイコンカラリー

2016九州地区大会

【出場選手名】

小川工業高校

岡本 光くん(1年・下宮)



▲左から木村心さん、黒田晃誠くん

秋夜に白球飛び交う 秋季ナイターソフトボール大会

11月10日から11月20日にかけて、桜ヶ丘グラウンドにおいて、第9回秋季ナイターソフトボール大会が開催され、10チームがトーナメント形式で熱戦を繰り広げました。

肌寒さを感じる中で大会となりましたが、劇的な逆転勝ちや息詰まる投手戦など、各チームとも持ち味を發揮し、寒さに負けない熱いプレイで大会を盛り上げました。

注目の決勝戦は、激戦を勝ち抜いた北竜と黒潮クラブの対戦。初回に北竜が自慢の強打で10点を取ると、粘る黒潮クラブの反撃を抑え、17対3で勝利し、2年連続7回目の優勝を飾りました。



▲激戦を勝ち抜き優勝!

地域と学校の連携を考える 「次世代」育成推進フォーラム

11月17日、氷川町文化センターにおいて、第10回「次世代」育成推進フォーラムが氷川町で開催され、約140人の参加がありました。

フォーラムでは、竜北中学校吹奏楽部の演奏や、同校の演奏に合わせた竜北西部小学校と竜北東小学校の6年生による合唱が発表され、小学校と中学校の連携の姿を見ることができました。

実践発表では、氷川中学校学校運営協議会の四宮和明会長、村山賢一委員、中島綱紀校長による「学校の課題解決に向けた新たな取り組み」について報告があり、学校の課題を学校運営協議会で共有し、課題の解決に向か



▲小中学生による発表

う「地域とともにある学校づくり」の具体的な取り組みについての報告が行われました。

その後、文部科学省中央教育審議会の専門委員なども務められている、横浜市立東山田中学校コミュニケーション・ハブの竹原和泉館長により「学校や地域の課題に真価を發揮するコミュニケーション・スクール」と題した講演が行われました。

竹原館長は、豊富な経験や実例を交えながら「子どもたちの未来のためにも地域とともにある学校づくりの推進が不可欠である」と話され、「地域でどのような子どもを育てていくか」を共有すること、「学校は課題を地域と共有し、協働して解決に向かうこと」など、本町が進めているコミュニケーション・スクールの推進に多くの示唆をいただく有意義な時間となりました。

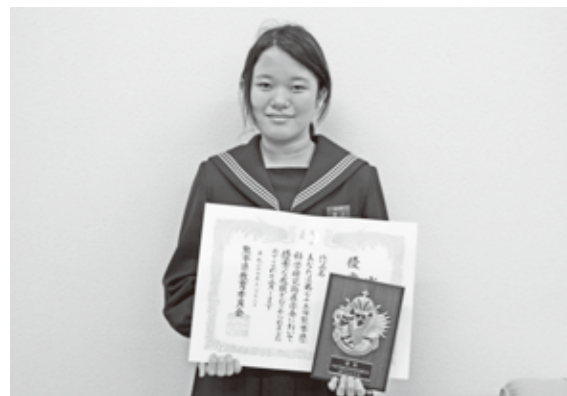


▲竹原館長による講演

氷川の水質研究に挑戦 井上愛那さんが県科学展で入賞

11月12日から17日にかけて、崇城大学ギャラリーで開催された熊本県科学研究物展示会(第75回科学展)において、氷川中学校2年生の井上愛那さん(新村南)の作品が八代地方校の選出作品として、80点の中から優賞に輝きました。

井上さんは「氷川の水はきれいだろうか」をテーマに、昨年行った氷川の水質調査をさらに進め、検査キットによる氷川5地点の水質やカイワレダイコンの生育の違いなどを研究。「研究は遠くまで水を汲みに行くなど大変でしたが、きれいな氷川を未来に残すため、できることから始めたいです」と話されました。



▲入賞に笑顔の井上愛那さん

おいしく食べて減塩を目指す 生活習慣病予防教室

11月19日、氷川町公民館において、生活習慣病予防教室が開催され、食生活改善推進員および一般参加者40人の参加がありました。

今回の教室は「減塩でおいしく食べる」をテーマに開催。

はじめに、塩分と血圧の関係や高血圧が体に与える影響について保健師から解説があり、続く調理実習では「きのこ豚丼」「野菜スープ」「青菜のじゃこ和え」「黒ゴマ豆乳プリン」の4品を調理しました。

味も好評だったようで、参加者からは「減塩は大事だと思った」「具材の工夫で塩分を抑えてあり良いと思った」などの感想が聞かれました。



▲ヘルスマイトの指導を熱心に聞く参加者

氷川流域活性化へ知恵絞る 氷川流域連携政策アカデミー

11月20日から22日にかけて「氷川流域連携・全国大学生政策アカデミー2015」が行われ、全国の大学生や社会人約30人が、氷川流域を活性化するための、政策提言を競い合いました。

参加者は、氷川町と八代市鏡町・東陽町・泉町の旧小学校校区ごとに7つのグループに分かれ、聞き取り調査や資料収集を行い、練り上げた政策を提言。審査の結果、地区内の水路を「鉄道」に見立て、ホタルやコイの生息地などの拠点ごとに駅を設置し、環境学習や地域活性化につなげようとする有佐地区の提言が1位に輝きました。



▲考え抜いた政策をプレゼンテーション

全国の特産品が集結 わらしべ市

12月5日、まちづくり酒屋において、わらしべ市が開催されました。

わらしべ市は、全国の特産品を販売することで、町の活性化を図るイベントで、友好町である大空町などそれぞれの特産品を物々交換したことから始まり、10年以上続く、恒例のイベントとなっています。

会場には、大空町のチーズやソーセージ、長野県小布施町のリンゴなど、全国各地の特産品がずらりと並び、子どもも記者クラブの児童たちも売り子として、試食を勧めたりするなどして特産品を販売。

魅力的な品を前に多くの人で、にぎわいを見せていました。



▲魅力的な特産品がずらり